

有機農業による野菜作りを始めて三十年あまり。尾崎さんは生産者と消費者が協働する自給農場を発足し、顔が見える仲間のために有機野菜を育てています。有機農業を「生命ある世界の本質」と捉え、百姓仕事の傍ら、講演や執筆をこなす多忙な日々。それでも「全くストレスを感じない」と話す尾崎さんに、イキイキとした毎日を過ごすヒントを伺いました。

人間も生き物である限り、自然から離れては生きていけない

瞬間（旬感）を生きる暮らし

— 尾崎さんが有機農業に取り組みはじめたときを教えてください。

尾崎 そもその出発点は、サラリーマン生活をやめ「自立した生き方」を選択したことが始まりですね。妻と息子2人を抱えての転身でした。では「脱サラ」と言っても、そうではなくて「卒サラ」。会社を辞めて事業を始めた場合、雇われる側から雇う側になっただけで、管理社会からは脱していない。私の場合、自立した生き方を求めて管理社会を卒業し、自分の世界を新たに建てるという意味で「卒サラ」と名付けました。

自立して生きようと意気込んだものの、いったい何をやるのか。思索していたとき、私のアンテナに引っかかったのが環境問題であり、食と農の関係です。生きることの基本である食糧を他人に委ねているうちは自立と呼べないのでは……。こういう思いもあって、有機農業を生業と決めたのです。有機

農業は当時、ほとんど市民権を得ていませんでした。2006年に成立した有機農業推進法は、私が仲間と手掛けてきた有機農業運動の成果と言えますね。

— 有機農業を行う魅力は何ですか？

尾崎 一つは生命の素晴らしさに触れられること。野菜が生き物だということをまざまざと見せつけられた出来事が、二年目の越冬期にありました。

ます。五年前、十年前にうまくいかなかったことも今ならできるかもしれません。自分からあきらめる必要は無いのです。

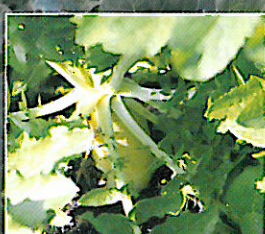
少しでもその気になったら見栄や世間体なんかを気にしちゃ駄目。それこそ管理社会の悪習です。準備不足のせいにするのも良くないですね。私自身、農地を借りてから野菜の作り方が書いてある参考書を購入。失敗も多々ありましたが、おかげで「考える力」「創る力」が養えました。万事その調子で、何の知識も無いまま木材を切り、つなぎ合わせて、自宅まで建てちゃいましたよ（笑）。

— 最後に読者へメッセージをお願いします。

尾崎 スバリひとこと、田舎に行きましょ。ふだんは都会が好きだという人も、ふと山や海が恋しくなるもの。それは自然が呼んでいるのではなく、生き物である限り、自然から離れては生きていけないからです。「そうは言っても忙しくて……」という方は、その忙しい時間が自らの生命を削っていることに気付いてほしいですね。

実際、田舎に来てみると、五感の再生を感じるはず。いくらテレビの画面がキレイになっても伝えられない風の爽やかさ、木々の香りに包まれますから。それにテレビは発信する側が見せたい映像を映しますが、現地に来れば自分の視点で自由に観て、自分の感性で気付くことができます。それが最も大切なことです。

いまの世の中、時間は逃げる、お金は逃げる、しかし田舎は逃げません。そして私も「ここ」にいます。もしあなたが私に会ってみたいと思ったら、遠慮なくご連絡ください。仲間と一緒に大歓迎しますよ。



— 会社勤めや都会暮らしを続けながらイキイキと生きるには？

尾崎 自然の摂理と同じで、物事はバランスが大切です。管理社会にいるサラリーマンが生きていくうえでバランスを取ろうと思ったら非管理社会つまり自己管理の世界を作ればいいでしょう。何かと言えば自分のしたいこと、やりたいことをする、それだけです。何がしたいかわからなければ、読書でもマラソンでも思いつくまま何でもやればいい。いつか自分の波長とピッタリなものに出会い

田舎に行って五感を再生

長年この暮らしを続けてきていますが、蒔いた種が芽を吹いた姿を見ると、今でも感動します。

もう一つは、一年でリセットされること。例えば前年が最悪の年でも、春には必ず新たな一年がスタートします。どんな嫌なことも尾を引かず、キツバリと気持ちの切り換えができる。つねにまっさらな気持ちで、瞬間（旬感）を生きる。そんな暮らしが、私には心地良いのです。

そしてさらには、有機農業の暮らしは、人間が自然界で生きていることが実感できる基本（ベース）であるということです。それは林業でも漁業でも同じで、要は、第一次産業と呼ばれている世界です。それらのベースがあつて文化も成り立つと考えています。仮に私が林業漁業の世界に入っても、それぞれ同じようにしていただいでしょうね。



Special Interview
スペシャルインタビュー

尾崎 零さん
おざき れい

日本有機農業研究会幹事
大阪府有機農業研究会前代表
「農を変えたい全国運動」幹事
全国有機農業生産者懇話会代表
大阪府有機農業生産者懇話会代表
産消循環自給農場くべじたる・は一つ代表

著書「自立農力」(家の光協会出版)
e-mail rayha-orgarelate05040204@iris.eonet.ne.jp